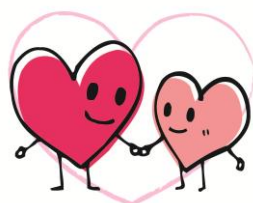


第5期 鶴見区地域福祉保健計画 (鶴見・あいねっと)

(素案)



鶴見・あいねっと

～たすけあい・支えあい・人と人とのネットワーク～

意見募集期間

令和7年10月20日(月)から11月20日(木)まで

第5期鶴見区地域福祉保健計画(鶴見・あいねっと)の素案がまとまりました。
広く区民の方々のご意見を反映した計画としていくため、区民の皆様のご意見をお聞かせください。
なお、4章のうち 31～66 ページは策定中のため未掲載です。

鶴見・あいねっと推進委員会
鶴見区役所
鶴見区社会福祉協議会

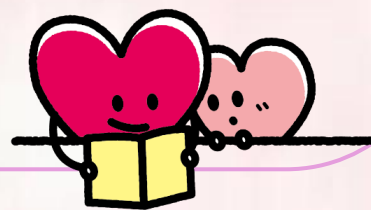
はじめに

～この冊子を手にとったみなさまへ～

鶴見区には、いろいろな人が暮らしています。その中には、悩みごとや困りごとを抱えている人もいます。家族や友人に相談できる人もいれば、できない人もいるかもしれません。

日ごろからのつながりを通して、お互いに困りごとに気づき、必要な支援が届けられれば、誰もが安心して自分らしく暮らしていくことができますね。生き生きと活動できる場で、心や体を健やかに保つことも、大切にしていきたいですね。

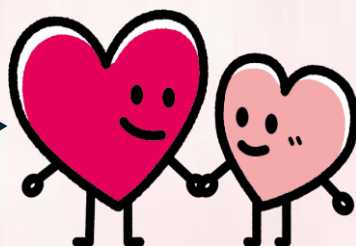
「鶴見・あいねっと」は、そうした思いをもとに、みなさん一人ひとりができることをまとめた計画です。まずは、「これならできそう」と思えることから、少しずつ始めてみませんか？



「鶴見区地域福祉保健計画」とは

鶴見区地域福祉保健計画（鶴見・あいねっと）は、誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域づくりを目指し、区民の皆さま、事業者、公的機関等が福祉保健などの地域の課題解決に協働して取り組み、身近な地域の支えあいの仕組みづくりを進めることを目的とした計画です。

「あいねっと」は計画の愛称で、公募で名づけられたんだよ。



「たすけあい・支えあい・人と人のネットワーク」の意味が込められているんだよ。

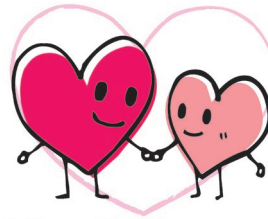
あいねっとちゃんの紹介

名前

ふたりあわせて

あいねっとちゃん

「あいちゃん」と「ねっとちゃん」じゃないよ♡



鶴見・あいねっと

誕生日

平成17年

第1期計画から登場しています

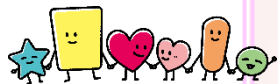
性格

おっとり、のんびり

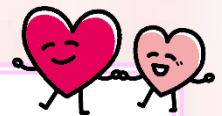
でもお祭りになると急にテンションが上がるよ

特技

地域のみんなをつなぐこと



好きなこと



みんなとお話すること／
三ツ池公園の芝生や鶴見川の河原でお昼寝すること／
こどもと遊ぶこと

ともだち

鶴見のみんながおともだち。鶴見区マスコット「ワックくん」も親友だよ！
ともに鶴見のまちづくりを盛り上げる

メッセージ

みんながつながって、なかまになろう！

はじめに	1
あいねっとちゃんの紹介	2

1章 データで見る鶴見

● あいねっとちゃんの主観で語るつるみ区	6
----------------------	---

2章 鶴見・あいねっとの方向性

● 「鶴見・あいねっと」とは	7
● 「鶴見・あいねっと」の構成	8

3章 区全体計画

柱Ⅰ つながり	9
～多様な人や団体が参加し、つながっている地域～	

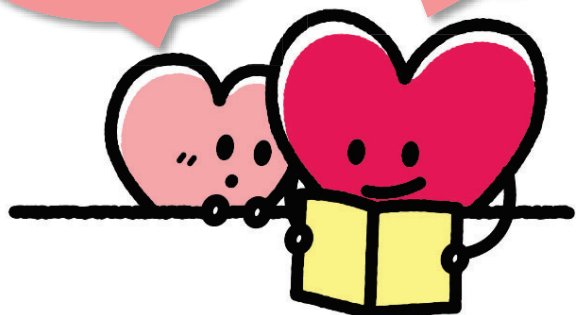
柱Ⅱ たすけあい	15
～困ったときにお互いに気づき、助けあえ、支援が届く地域～	

柱Ⅲ すこやか	23
～心も体も健やかでいられる地域～	

● 第5期計画の評価指標	27
● 市計画、区計画、地区別計画の関係	28

「区全体計画」って
なんだか難しそう、、、

心配しなくて大丈夫！
身近にできることが
たくさん紹介されているよ！
まずは気軽に読んでみよう！



4章 地区別計画

● 地区別計画の概要

29

● 18地区 地区別計画

矢向

31

市場

33

市場第二

35

鶴見中央

37

潮田中央

39

潮田東部

41

潮見橋

43

潮田西部

45

小野町

47

生麦第一

49

生麦第二

51

豊岡

53

寺尾

55

寺尾第二

57

駒岡

59

上末吉

61

下末吉

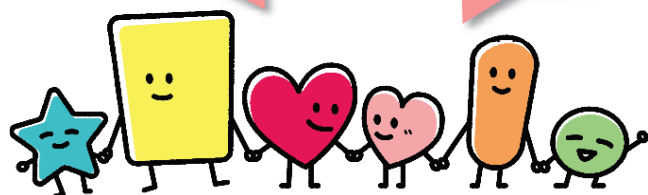
63

江ヶ崎

65

18地区それぞれで
力を入れたいことを
まとめているよ！

地区ごとに特徴があって
面白いね！



5章 鶴見・あいねっとの策定経過

● 第4期計画の振り返り	67
● 第5期計画に向けて	68

資料編

● 関係機関活動紹介	69
● 推進委員・プロジェクトメンバー一覧	72
● 区民アンケート	73
● 相談先一覧	75

コラムテーマ一覧

鶴見区で実施されているさまざまな取組を、
5つのカテゴリー別にわかりやすく紹介しています。

交流

～地域でちょっとしたつながりを感じたい方へ～

- 地域がつながるってどんなこと？ 9
- 住民と福祉・医療機関との関係づくり 12
- 高齢者の買い物支援と外出のきっかけづくり 14
- 外出が難しい地域での移動支援の取組 14
- 「あいさつ＋ひとこと」を通じた関係づくり 15
- 元気なうちから一緒に行く健康づくり 24
- 居場所が育む大きなつながり 24
- 地域活動の仲間を増やす工夫 30

子ども

～未来を担う子どもたちと、その成長を支える方々へ～

- 子どもたちの意見を取り入れた地域活動 10
- 子どもの居場所提供を行う関係者のつながりづくり 13
- 子どもと大人がつながる放課後の居場所 14
- 妊娠中から子育て期にかけての切れ目のない支援 21
- 子どものころからの健康づくり 23
- 子どもも大人も、食事を通してつながる居場所 24

支援

～困ったときに頼れる場所を探している方へ～

- 障害児・者とその家族のための環境づくり 19
- 明るい社会を目指す更生保護の取組 20
- ヤングケアラー、ダブルケアラーを支援する取組 21
- 生活困窮者支援の取組 22
- 性的少数者の方への支援 22
- 犯罪の被害にあわれた方への支援 22

相互理解

～さまざまな人と向き合い理解を深めたい方へ～

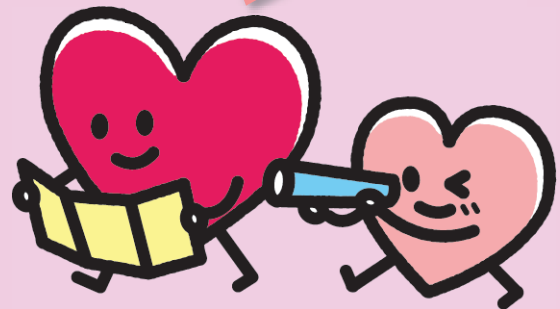
- 福祉に触れ、学び、関わるきっかけづくり 11
- 障害者の方の二十歳を祝うつどい 14
- 外国の文化・習慣にふれる多文化交流の取組 16
- それぞれの人に合った防災への備えと支え合い 20

担い手

～地域のために一歩踏み出したい方へ～

- 地域課題解決に向けた新たなチャレンジを応援 12
- 認知症の人やその家族への見守り 17
- 支援に向けた多様な団体・職種間のネットワークづくり 18
- 誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現 25
- ボランティア活動ははじめませんか？ 26

興味のあるコラムから
読んでみよう！



データで見る鶴見 鶴見区ってどんなまち？

若い力で活気あふれた
まちなんだね！

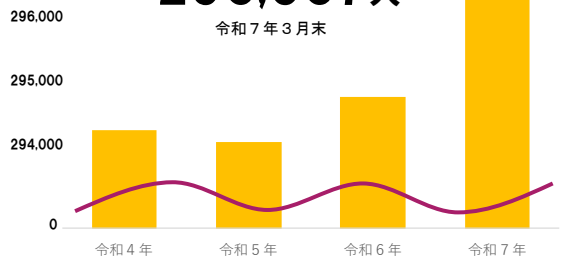
市の平均に比べて
多いんだね！



人口

296,367人

市内18区中第3位

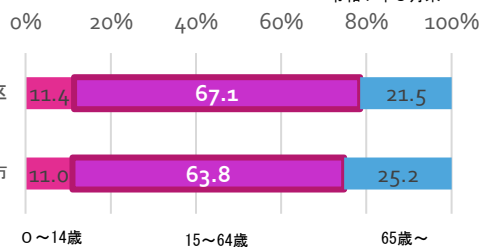


出典：統計情報ポータル

生産年齢人口比

67.1%

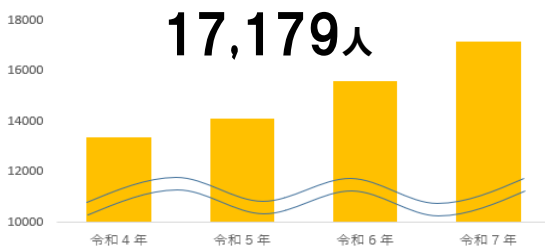
令和7年3月末



出典：統計情報ポータル

外国籍の住民

市内18区中第2位



出典：統計情報ポータル

面積

市内18区中第3位

33.21km²

最高地

47.2m

(馬場四丁目)



出典：「鶴見区史」鶴見区史刊行委員会・建築局

事業所数

10,339事業所

従業者数

112,317人



出典：令和3年経済センサス・活動調査

鶴見区の自転車事故発生件数は 横浜市18区中ワースト1位…

出典：横浜市内の交通事故統計

みんな安全に
自転車に乗ろう！

ヘルメットも
忘れずにね！



市内18区中第1位

1

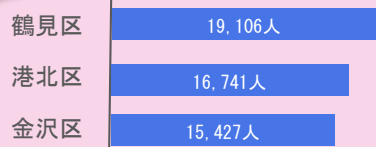
地域を支える”ものづくりのまち”鶴見

鶴見区の製造業の従業者数は
なんと1位なんだって！



製造業の従業者数

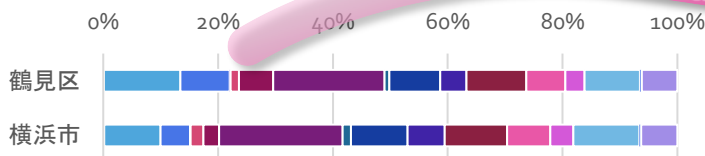
20,000(人)



鶴見区は、京浜工業地帯の一角として発展し、
今も多くの製造業が集まる”ものづくりのまち”
です。
多様な企業が地域経済や雇用、暮らしの安心を
支えています。

産業大分類構成比

製造業の従業者数TOP3を見てみよう！



- 農林漁業
- 建設業
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 運輸業、郵便業
- 金融業、保険業
- 学術研究、専門・技術サービス業
- 生活関連サービス業、娯楽業
- 医療、福祉
- サービス業（他に分類されないもの）
- 鉱業、採石業、砂利採取業
- 製造業
- 情報通信業
- 卸売業・小売業
- 不動産業、物品賃貸業
- 宿泊業、飲食サービス業
- 教育、学習支援業
- 複合サービス事業

出典：令和3年経済センサス・活動調査

アンケートなどで子どもの意見を聞いている地区

15地区/18地区

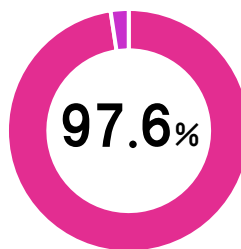
あいねっと地区懇談会に子どもが参加している地区

3地区/18地区



民生委員充足率

市内18区中第1位



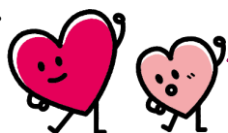
平均より
5ポイント
以上高い

全市平均 92.2%

ボランティア団体 登録総数※

延べ 240団体 (R6年度末時点)

随時参加者
募集中!

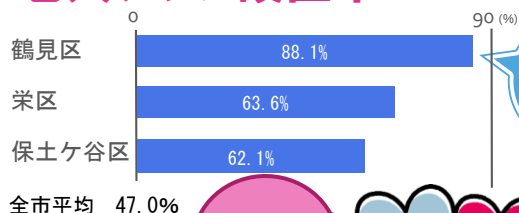


できることから
始めよう!

※区民活動センター・区社協・地域ケアプラザへの登録団体数

老人クラブ設置率

市内18区中第1位



だんぜん
トップ

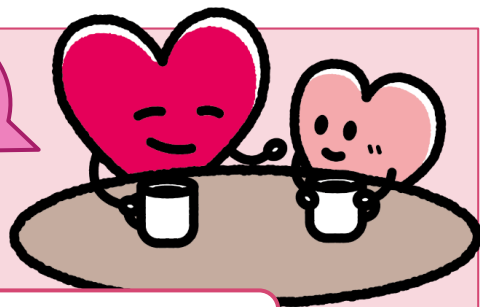
みんなとの
交流が
元気の秘訣さ



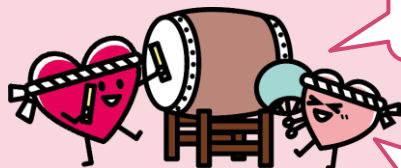
あいねっ
ちゃんの

主観で語る つるみ区

あくまでも
主観だよ!

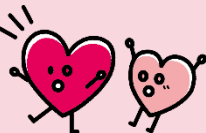


つるみ区民はとにかくお祭り好き!
1年を通してお祭りのことをよく考えているよ。



歴史あるお祭りもたくさんあるよ!
区民まつりだって年2回開催されるよ。
みんなで盛り上げよう♪

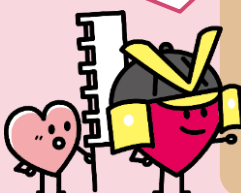
根拠はないけど、ワックくん
は、区のマスコット
認知度No1だと思ってるよ。



ほっこりするの好きだよ。
だから銭湯も愛されてるのかな。



鶴見には、歴史的なみどころもいっぱい!



歴史と文化が息づくまち

鶴見には、古墳や貝塚など、古代の人々の暮らしや文化を伝える遺跡がたくさんあります。



人面土器

また、中世に築かれた寺尾城の跡地や、幕末の外交事件を記録する生麦事件碑もあります。



生麦事件碑

さらに、曹洞宗の大本山總持寺は明治44年にこの地に移転。文化財に指定された建物も多数あり、鶴見区は時代を超えて歴史の重みを伝えています。

大本山總持寺



※9か所 (中区と同数)

銭湯の数も18区でNo1👑
なんだって。※

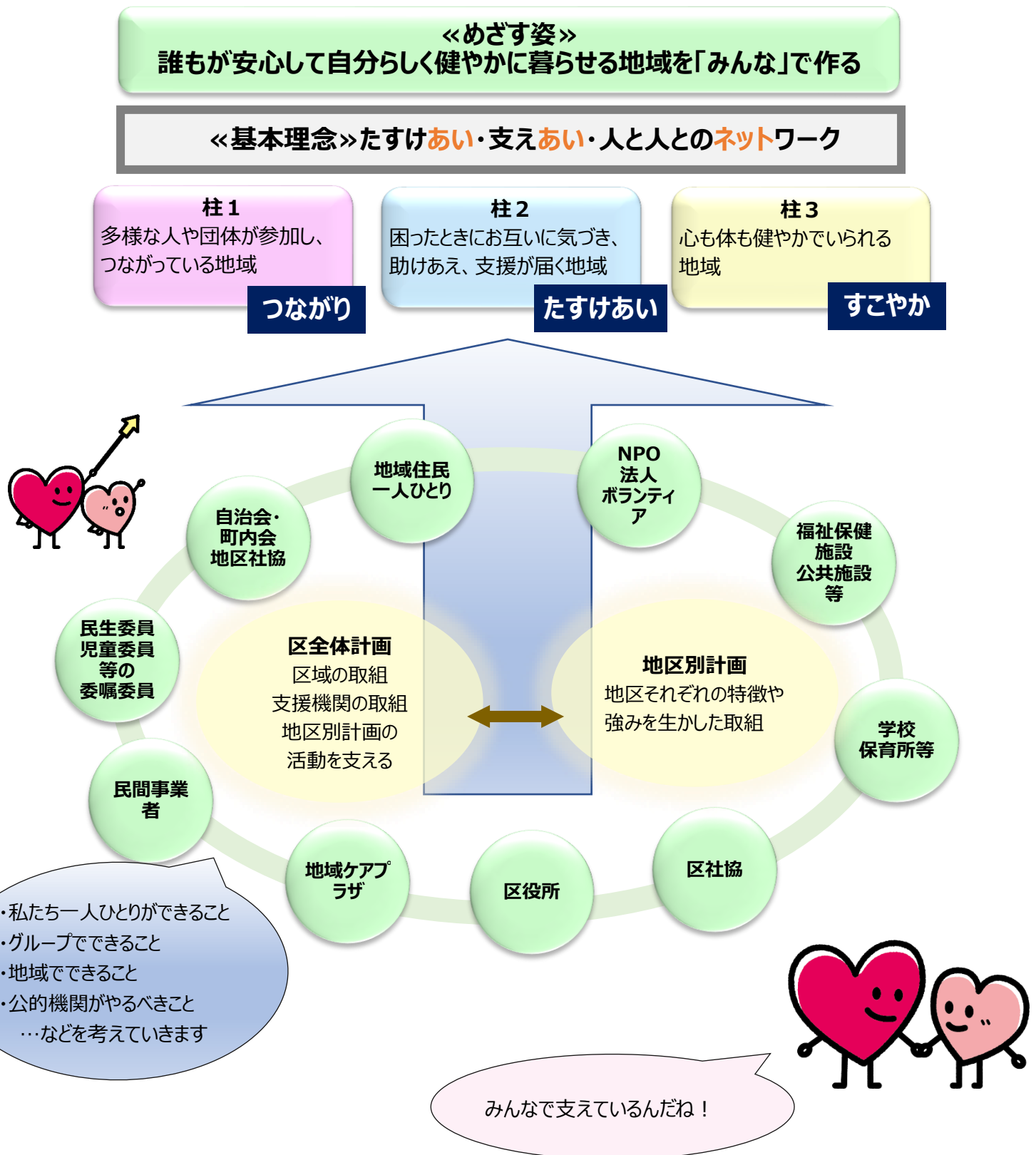
第5期鶴見区地域福祉保健計画（鶴見・あいねっと）の方向性

◆「鶴見・あいねっと」とは

誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域を目指して、住民一人ひとりや地域活動団体、事業者、公的機関などが、それぞれにできることを「みんな」で取り組むための計画です。

◆「鶴見・あいねっと」の構成

- ・区全域で取り組む「区全体計画」は、「めざす姿」に向かうための3つの「柱」を設定しています。
- ・地区で話し合って策定した18の「地区別計画」は、地域みんなの想いを共有するものになっています。



柱 I

多様な人や団体が参加し、 つながっている地域

つながり

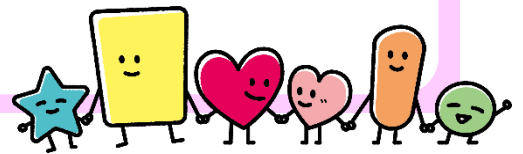
地域での暮らしは、さまざまなつながりで成り立っています。

鶴見区には自治会・町内会はもちろん、学校、企業、NPO法人などの多様な団体があります。

その潜在能力を最大限に発揮できるように、これまで以上にさまざまな分野がつながっている地域を目指します。

【めざす姿】

- 子どもや子育て世代など、あらゆる世代が地域とつながっている
- 福祉の分野を超え、多様な団体同士がそれぞれの強みを生かし協力している
- 地域を支える人材が生まれる土壌がある
- 「つなぎ役」「コーディネート力」がいる・ある
- 新しい交流の形や機会が増えている



柱 II

困ったときにお互いに気づき、助けあえ、 支援が届く地域

たすけあい

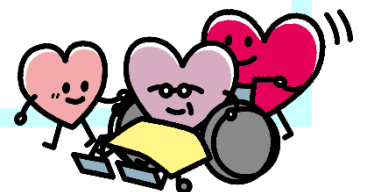
困りごとやその背景、必要とする支援は一人ひとり異なります。

相談先がわからない、困っていると言いつらい、そもそも自分が困っているのかわからないこともあります。

日ごろからの見守りと声かけを大切にし、住民同士がお互いを理解し、困っているときに気づきあい、必要な支援につながる地域を目指します。

【めざす姿】

- 一人ひとりの多様な背景を相互に理解できる
- 日ごろの見守りから、困っている人に気づき、必要な情報を届けることができる
- 誰もが支える側、支えられる側になるような「お互いさま」の関係がある
- 支援機関や関係団体が連携できている



柱 III

心も体も健やかでいられる地域

すこやか

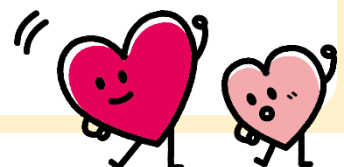
一生を通して自分らしくいきいきと暮らすためには、一人ひとりが若いころから自身の健康を守る意識を持ち、取り組むことが大切です。

また、人との交流、生きがいや役割が持てる場や機会があることは、心の健やかさにもつながります。

一人ひとりが自ら身体と心の健やかさを保つことができる地域を目指します。

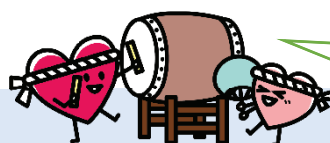
【めざす姿】

- 年齢や障害などに関わらず、その人の状態に合わせて健康づくりの場に参加できる
- 若いころから健康づくりに関われる
- 年齢や障害等に関わらず、ボランティアや地域活動等に参加し、居場所や役割が持てる機会がある



- 子どもや子育て世代など、あらゆる世代が地域とつながっている
- 福祉の分野をこえ、多様な団体同士がそれぞれの強みを生かし協力している
- 地域を支える 人材 が生まれる土壌がある
- 「つなぎ役」「コーディネート力」がいる・ある
- 新しい交流の形や機会が増えている

自分で・家族で



鶴見は魅力的な
行事がいろいろ
あるよね～

- ・地域に知り合いを増やしてみよう。まずはあいさつから！
- ・自分のやりたいこと、好きなことの情報を地域の掲示板、口コミ、SNSなどで探してみよう。
- ・防災訓練やお祭りなどの地域行事、地域での居場所・サロンなどに参加してみよう。

なかまで・地域で



掲示板や
ホームページは
いろいろな情報が
満載だね

- ・個人同士、団体同士など、お互いの強み弱みを共有して、一緒に取り組めることがないか考えてみよう。
- ・地域行事などについて、新しい人も参加しやすい内容や情報発信を考えてみよう。
- ・つながりが必要そうな人や団体を、他の活動をしている人や団体につなごう。できない時は、つなげるのが得意な人を探してみよう。

地域がつながるってどんなこと??

推進会議では、「垣根をこえてつながるまち・鶴見をめざして」について話し合いました。

そもそも「垣根」とは何か？垣根は見えないものや、経済的なもの、子どもの有無、性別、国籍、いろいろな障害による垣根もあるとの話がありました。鶴見には、多様な人々、たくさんの団体・企業・事業所などがいて、様々なつながりが生まれるという強みがあります。

2027年には鶴見区100周年を迎えます。それに向かって全力でみんなでやりたいことをやれば垣根をこえられるのではないかと話もありました。



つながりたい気持ちを
後押しできる人や機会
が増えるといいね！

自分たちのまちを自分たちで～子どもと地域がつながる取組～

子どものころから地域とつながることは、子どもたちの地域への愛着が芽生え、地域ぐるみで子どもを大切にし、育てる風土づくりにつながります。区内の子どもたちの意見を取り入れた取組の一部を紹介します。

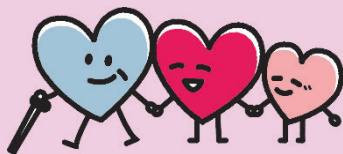
「地域と何ができる会？」

寺尾第二地区社会福祉協議会では「子どもの声、思いを直接聞きたい！」と、地域の中学校・小学校の生徒・児童を集め、意見を聞く機会を年に1度設けています。「地域にあったらいい居場所」として「なんでもはなせる、地域が寄りそう」カフェの提案があり、“はな♡そうカフェ”として実現しました。子どもたちの意見を取り入れながら企画・運営を子どもたちと一緒にいき、さまざまな世代でにぎわっています。

また、子どもたちと地域住民が一緒に行う“地域清掃”の提案もあり、「Let's Clean Tsurumi! (LCT!)」として実施されました。上の宮中学校の福祉委員会の生徒を中心に、活動の名称や清掃方法などを検討。同校生徒だけでなく、小学校の児童、そして地域住民が参加し多世代交流の場となっています。自分たちのまちを自分たちできれいにすることでより地元への愛着が増したとの声も聞かれています。



福祉委員会にて話し合いを行う生徒のみなさん



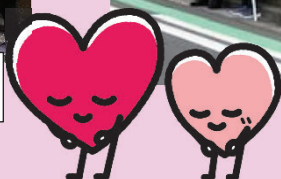
はな♡そうカフェにてパンケーキをふるまう生徒のみなさん

矢向・江ヶ崎あいさつ運動

矢向地区社会福祉協議会、江ヶ崎地区社会福祉協議会では毎年、矢向小学校、新鶴見小学校の入学式の日に合わせて、町内会、民生委員、ボランティアとともにあいさつ運動を実施し、あいさつパンフレットを配布しています。あいさつをきっかけに、矢向、江ヶ崎地区の子どもと地域の大人たちが顔見知りになり、つながるきっかけになっています。



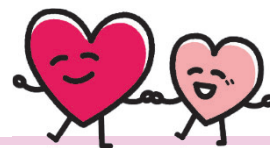
小学校前にてあいさつをするみなさん



あいさつ運動パンフレット

区役所・区社協・地域ケアプラザで

◆多様な担い手をつなげる支援をしています



共通	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動に関する講座、研修を開催し新たな担い手を発掘・育成します。 ・小中高大学と連携し、地域活動に興味を持ってもらえるような取組を行います。 ・自治会町内会、企業、学校、NPO 法人、社会福祉法人、保育所など多様な主体と連携して取組を進めることで担い手の輪を広げていきます。
区役所	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中でさまざまな活動・団体を結びつけることができる人材を増やしていきます。 ・多様な主体が、さまざまな生活支援を行う体制づくりや、住民が担い手となる環境づくりを進めます。
区社協	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の得意なこと、できることを生かせるような活動先のコーディネートやボランティア講座を開催します。また、地域活動の担い手と受け手がつながるようコーディネートします。 ・企業や働く世代など、地域とのつながりが持ちにくい人を地域活動につなげます。
地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のニーズに沿った事業を行い、さまざまな世代の交流を深めます。 ・ケアプラザ内の各職種間で連携し、各種団体同士の交流や情報共有等の場・機会を通して、地域の中でつなぎ役となる人材を地域とともに育てていきます。

取組例

- 福祉のすそ野や活動の場をひろげる取組
ふくしの体験会、生活お役立ち講座など
- 地域活動の担い手育成の推進
キャラバンメイトによる認知症サポーター養成講座、子育てサポートシステム、
区民講座「つるみ MACHI 塾」、生涯学習ボランティアバンク「鶴見人ネット」、鶴見・まちづくり
ゼミナール
- 包括連携協定を締結した大学との各種事業での連携など

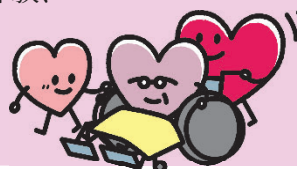
福祉に触れ、学び、関わるきっかけづくり～ふくしの体験会～

鶴見区社会福祉協議会では、子どもから大人まで、幅広い方に福祉に関心を持っていただくために「ふくしの体験会」を開催しています。

(障害のある)当事者講師による手話講座や視覚障害者の誘導体験、アニマルセラピーなど、体験やふれあいを通して、福祉に触れ、学ぶ機会となっています。



アニマルセラピー犬の
ふれあい体験



新たなチャレンジやつながりを応援する、自分らしくつながる ～鶴見・まちづくりゼミナールや企業との連携～

『鶴見・まちづくりゼミナール』や『つるみ MACHI 塾』は、いつまでも住み続けたいまち・鶴見をつくるための体験型講座です。

経験豊富な講師や地域で活躍している先輩たちが、あなたの「何かしたい!」という思いの後押しをしてくれます。また、さまざまな担い手発掘や育成につながる講座になっています。



講座の中で「イベント開催」の疑似体験中の様子

令和4年度の鶴見・まちづくりゼミナール受講生が、研修時に「一人暮らしの高齢者の方達のつながりづくりができないか・・・」という思いをプラン化。令和5年8月に自宅マンションの集会室でコミュニティカフェ「ハイレイズカフェ」を開きました。

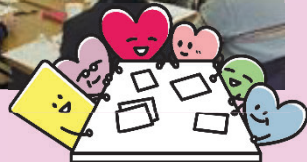
一緒にお茶をして共通の関心事を話題にすることで、顔の見える関係からさらに関係性を深めることができています。

鶴見中央地区社協などから資金面の支援、困った時には鶴見中央地域ケアプラザからアドバイス等を受けて、

運営を手伝ってくれる住民の輪をつくり、現在まで毎月1回（第4日曜日）のペースで続いています。



ハイレイズカフェにて日々の関心ごとを共有している様子



地域のさまざまな団体が参画し、強みを生かしたつながりのあるまちへ ～福祉機関や医療機関と住民との連携～

ケアマネジャーと 民生委員・児童委員交流会

各地域ケアプラザでは、顔の見える関係づくりを目的として、ケアマネジャーと日ごろ地域で見守り活動を行う民生委員・児童委員との交流会を開催しています。

福祉の専門職と住民のつながりができることで、支援や活動の幅がさらに充実していきます。

寺尾地域ケアプラザ
ケアマネジャーと民生委員・児童委員の交流会



駒岡地域ケアプラザ
ケアマネジャーと民生委員・児童委員の交流会
～災害対応カードゲーム「クロスロード」



一人暮らし高齢者の食事会

一人暮らし高齢者を対象とした食事会では、民生委員が担当の高齢者宅への訪問や電話などによりお誘いをしています。食事会では普段の暮らしの様子を伺い、参加者同士が交流する場にもなっています。気になる方がいたときは、地域包括支援センターへ相談をするなど、日ごろから相談できる関係づくりができています。

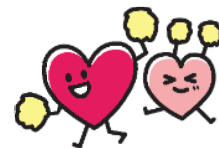


上末吉地区社会福祉協議会主催
高齢者食事会「やよい会」



民生委員・児童委員・・・地域の方々の身近な相談相手として、支援を必要とする住民、行政や専門機関をつなぐパイプ役となっています。自治会・町内会からの推薦により、厚生労働大臣が委嘱をしています。なお、民生委員は児童福祉法により児童委員を兼務しています。

◆多様な主体とのネットワークづくりや、活動団体の応援をしています



共通	<ul style="list-style-type: none"> ・住民同士の交流が進み、地域の社会資源につながるきっかけができるよう、さまざまな人や団体が参加する事業・会議などの実施や支援を行います。
区役所	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな関係者との連絡会を開催します。また、既存の活動が、既存の枠組みをこえた人々・団体とつながることで、活動内容が進化していくよう、つながりづくりを促していきます。 ・地域支援体制による担当地区への関わりを通して、地域のつながりがさらに深まり、地域活動が活性化するように支援します。支援にあたっては、地域ケアプラザをはじめとする施設職員と協働して行います。
区社協	<ul style="list-style-type: none"> ・区社協の会員同士の連携強化のため、分科会を横断した意見交換や、高齢者・障害・子どもなど、各分野間での合同研修会を継続して実施します。 ・企業とNPO、事業所等と地域や団体を結び付け、新たな活動の創出につなげます。 ・活動団体への資金面での助成を行います。
地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民による取組へのコーディネートや支援を行います。 ・会議、講座、行事などを通して、地域との顔の見える関係づくりを進めます。 ・医療や介護などの専門職間の連携を強めて、地域につなげる橋渡し役を担います。 ・団体同士の連絡会などを通じて、お互いの活動を理解し連携できるよう支援します。 ・民生委員・児童委員・地区社協・食生活等改善委員（ヘルスメイト）、老人会、地域のサロンなど、地域の各種団体と協働しながら、講座や研修会などの取組を行います。

取組例

○地域と企業をつなぐ取組支援

タクシー移動支援、買い物支援、地域貢献応援セミナー

○多世代での交流につながる行事・事業、区民まつり、鶴見・あいねっと推進フォーラムなど

○関係者との連絡会の開催

健康づくり推進会議、地域ケア会議、虐待防止・認知症高齢者地域支援連絡会、自立支援協議会、要保護児童対策地域協議会、地域子育て支援ネットワーク会議、ふらっとルーム連絡会、子どもの居場所連絡会など

○様々な活動につながる支援

ふれあい助成金、情報発信

子どもの居場所の提供を行う関係者のつながりづくり～子どもの居場所連絡会～

子ども食堂・学習支援など、学齢期の子どもの支援を行う関係者の横のつながりづくり・情報交換・課題把握・情報提供のための子どもの居場所連絡会を開催しています。活動の悩み事や工夫を共有し、子どもの支援に関する仕組みづくりなどを話し合います。また、実施場所や日時等の情報をまとめて「鶴見区子どもの居場所一覧」を作成しています。連絡会には行政機関や区内地域ケアプラザ、企業など、地域活動を支援する団体や機関もたくさん参加しています。



子どもの居場所連絡会
「食品衛生についての話」

詳しくはこちら



鶴見区子どもの居場所一覧
(子ども・地域食堂、
学習支援等)





企業や事業所等との分野をこえたコラボレーション



高齢者の買い物支援と外出のきっかけづくり ～移動スーパー～

週に1度、野菜、果物、お魚、お肉、お米、日用品までお住まいの地域に移動スーパーがやってきます。買い物支援のみならず高齢者の外出の機会を増やすことでの健康支援や、人と人とが繋がる地域コミュニティ形成につながっています。



鶴見グランドハイツ自治会・
市場大和町自治会



市営生麦住宅

外出が難しい地域での移動支援の取組 ～相乗りタクシー～

山坂が多く、移動に課題がある地域のイベントに、区内のタクシー事業所の協力により、自宅とイベント会場を相乗りタクシーで送迎をしています。日ごろ外出が難しい方も安心して外出するきっかけとなっています。



寺尾第二地区社協主催
お楽しみ福祉大会



山坂の多いエリアに
お迎えに伺います

担い手不足の解消、企画のアウトソーシング～鶴見区二十歳を祝う会～

担い手不足などを理由に一旦終了した鶴見区障害児者団体連合会（障団連）による「新成人のつどい」は、障団連の思いを引き継ぎ、地域の関係者が実行委員会として復活、実施しています。開催にあたっては、障害者福祉等への活用を目的とした寄付を活用し、企画や実施を区内の企業に委託しています。また、記念品や花束、お茶菓子は鶴見にゆかりのある企業や店舗から商品の寄付をいただくなど、関係機関の協力により実施しています。

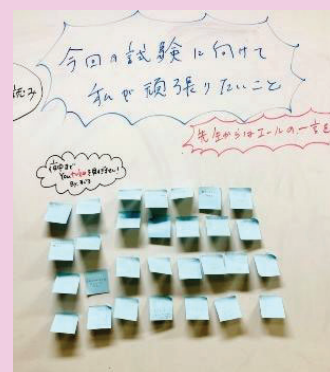
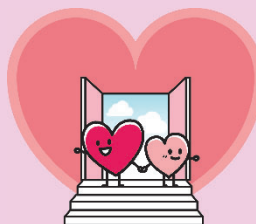


記念品を受けとる参加者

放課後の居場所支援、子どもと大人がつながる場～寛政中学びの居場所プロジェクト～

寛政中学校校内で行われている「寛政中学びの居場所プロジェクト」は、地域学校協働本部の事業の一つとして、2024年にスタートをしました。一般社団法人 Omoshiro を中心に、鶴見区社会福祉協議会、潮田地域ケアプラザ、明治安田こころの健康財団などの多様な団体が参画をし、子どもたちが「気軽に」「ダイレクトに」「自分の意思で」人と場にふれる、つながれる機会を大切に活動しています。

居場所では、学習サポートだけにとどまらず、さまざまな講師による「私を私が大事にする大事にされる」を軸にしたコミュニケーション講座や寛政カフェ、地域での子ども食堂の開催などを企画。参加をした子どもたちからは、「居心地がいいあたたかい場所」「いつもは話さない人と安心して話せる場所」などの声が出ています。



困ったときにお互いに気づき、助けあえ、 支援が届く地域

たすけあい

めどす姿

- 一人ひとりの多様な背景を相互に理解できる
- 日ごろの見守りから、困っている人に気づき、必要な情報を届けることができる
- 誰もが支える側、支えられる側になるような「お互いさま」の関係がある
- 支援機関や関係団体が連携できている

自分で・家族で



身近なことでできることって、色々あるんだね。

まずははじめの
一歩から♪



- ・近所の人へのあいさつに、「ひとこと」足してみよう。
- ・地域には色々な人がいること、それぞれ背景や必要な支援が異なることを理解しよう。
- ・将来の不安にそなえて、相談先の情報を知っておこう。
- ・困りごととは一人で抱え込まず、周りに相談して「助けられ上手」になろう。

なかまで・地域で



困った時は、お互い
さまだね♡

助け上手・助けられ
上手になりたいな。



- ・色々な人が交流できる場をつくって、お互いの理解を深めよう。
- ・日ごろから声をかけ合い、お互いを気にかけて、困っている人の合図をキャッチしよう。心配な変化があれば相談機関と一緒に考えよう。
- ・活動団体同士で情報を共有し、連携できることを一緒に考えていこう。
- ・必要な人に必要な情報を届けるための、情報発信の方法について工夫していこう。
- ・障害のある方など、誰もが地域イベントや防災訓練に参加できるように工夫していこう。

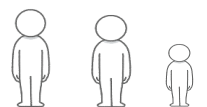
あいさつ+ひとことで、周りの人と顔の見える関係を築いていこう～日ごろからの関係づくり～

顔見知りを増やすには、まずはあいさつから！あいさつを交わすだけでも気持ちのよいものですが、「プラスのひとこと」があると、もっと嬉しくなりますね。日ごろから声をかけ合える人を増やしておくことは、困ったときに助け合える仲間を増やすことにつながります。皆さんも今日から「あいさつ+ひとこと」、始めてみませんか？

「プラスのひとこと」があると、もっと嬉しいね♡



あいさつって
気持ちがいい
ね！



「いいお天気ですね」
「いつもありがとうございます」
「いってらっしゃい」

色々な人と交流し、お互いの理解を深めていこう～多文化交流の取組～

鶴見区は外国にルーツを持つ方が多く、区民約 18 人に 1 人の割合となっています。ルーツも多様で、とても国際色豊かなまちになっています。

ルーツが違って、まずはお互いの背景や文化・習慣を理解し合うことで、困った時には助け合える関係を築くことができます。ここでは、区内の多文化交流の取組の一部をご紹介します。

違っていても



みんな仲間♪

「鶴見みんなの会」

「鶴見みんなの会」は、毎月第2土曜日 10:00～11:30 に鶴見中央地域ケアプラザで開催している多世代多文化交流サロンです。幼児を含む親子や小学生の参加も多く、外国にルーツを持つ方も参加しています。地域住民の方を中心とした企画会議には中高生ボランティアも参加。柔軟なアイデアがたくさん取り入れられています。

国際交流ラウンジの協力のもと、外国の遊びや文化も取り入れて、世代や文化の違いの垣根を超えて、みんなが楽しく過ごせる場所となっています。



潮田エリアにおける多文化交流の取組

多世代多文化交流、地域のネットワークづくり、防災や健康を考えるきっかけづくりを目的として、毎年3月に潮田公園で～つながりの街～USHIODA フェスタが開催されています。多文化交流コーナーでは外国のお茶やお菓子がふるまわれ、楽しみながら地域に住む人たちの多様性を感じることができる機会となっています。

また、潮田西部地区では令和7年7月に、3回目となる留学生と地域との交流会が開催されました。お互いの国の料理をふるまい、食文化に触れながら楽しく親交を深められる場となりました。



潮田中央地区の USHIODA フェスタの様子



潮田西部地区の留学生交流会の様子

◆お互いを理解し、気づき合えるしくみづくりを進めます

区役所	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある方や認知症の方とご家族たち、ヤングケアラー、ひきこもり状態にある方など、支援が必要であっても誰もが、地域の中で生き生きと暮らせる環境づくりを進めます。 ・多文化共生への理解を深めるための取組を進めます。 ・地域での見守り・支え合いの取組を充実させます。
区社協	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉教育や啓発イベントなどを通じて、障害のある方や外国につながる方など多様な立場の方への理解を深め、「共に生活する」ことへの意識づくりを進めます。 ・自治会町内会の見守り活動などの情報を地域の方々と共有し、より幅広い世代の参加を促します。
地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の見守り活動との連携をひろげ、子どもから高齢者・障害者まで身近な場所でのネットワークづくりを支援します。 ・住民同士がお互いにゆるやかに見守り合えるような地域づくりを進めます。 ・地域の一員として積極的に地域活動に協力し、地域を盛り上げていきます。 ・高齢者・障害者等に対する理解促進や交流の機会をつくります。

取組例

○障害者支援の推進

自立支援協議会・各部会、障害児関係機関連絡会、障害福祉施設等による自主製品販売支援、障害者週間、障害理解のための講座など

○認知症の理解促進及び見守り体制の構築

認知症サポーター養成講座の開催、チームオレンジの推進、認知症高齢者等 SOS ネットワークの充実など

○多文化共生への理解促進

区民向け多文化共生啓発イベント、鶴見国際交流ラウンジでの交流など

○ひとり暮らし高齢者等への見守り活動

「広げよう見守りの輪」推進事業など

○民間事業者と連携したゆるやかな見守り体制の構築

認知症であってもなくても

地域で自分らしく暮らし続けられるために
～認知症支援の取組～

認知症は誰しもうる可能性があります。また、症状・状態はさまざまで、ご本人の想いもそれぞれ違います。まずは「知ること」から始めませんか。そして、もし気になる方がご近所にいる場合には、やさしく寄り添い、支援機関に「つなげること」も大切です。

認知症の人やご家族を地域で温かく見守る応援者が「認知症サポーター」で、サポーター養成講座を受けることで誰でもなることができます。講座は区内各所で開催されています。ぜひ受講して認知症の人にやさしいまちづくりを進めましょう。

認知症サポーターは区内に累計で2万人以上もいるんだって！
小学生からでもなれるんだよ♪



詳しくはこちら

認知症サポーターキャラバン
キャラクター ロバ隊長

横浜市認知症サポーターキャラバン

◆必要なときに支援が届くしくみづくりを進めます

区役所	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠中から子育て期にかけての切れ目のない支援に取組、地域で安心して子育てができる環境づくりを進めます。 ・経済的な困りごとや生活上の課題を抱えている方などに、必要な支援が行き届くためのネットワークづくりを進めます。 ・災害に備えた共助の取組を支援します。 ・誰もが生活に必要な情報にアクセスできるよう、多様な方法でわかりやすい情報発信を行います。
区社協	<ul style="list-style-type: none"> ・支援機関や関係団体と連携し、いつでも気軽に相談できる窓口の一つとなります。 ・区社協内で連携し、ボランティア相談、権利擁護相談など各種相談事業を行います。 ・生活に困窮している方の相談に応じます。また、子ども食堂などを活用してさまざまな支援の周知を行います。
地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と顔の見える関係を築き、気になる方をケアプラザにつないでいただけるようにします。 ・元気なうちからケアプラザとつながりを持ち、必要なときに速やかに支援につなげられるよう、地域活動に積極的に関わっていきます。 ・広報誌、ホームページ、出前講座等を通じて情報を発信します。

取組例

○子育て支援・放課後児童育成の推進

両親教室、育児教室、こにちは赤ちゃん訪問事業、子育てのコツ講座、放課後キッズクラブ

○経済的な困りごとなどへの支援

生活困窮者自立支援制度、中学生への学習支援「つるみ未来塾」、小中学生への生活支援「鶴見元気塾」、生活福祉資金、食支援など

○災害に備えた共助の取組の支援

災害時要援護者支援、共助のための防災活動支援事業など

○区民にわかりやすい情報の発信

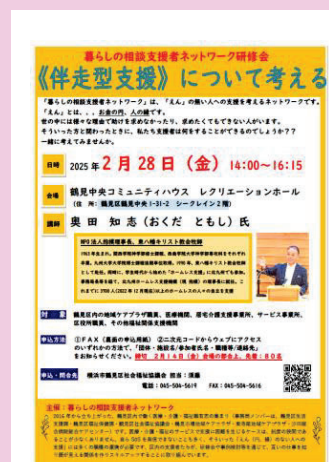
障害特性に応じた情報発信、つるみ区子育て応援ガイドブック、多言語版発行物の作成など

○在宅医療連携拠点の活用、地域包括ケアシステムと連携した取組

支援者間のネットワークづくり～「暮らしの相談支援者ネットワーク」の取組～

区内で働くジャンルや立場を超えたすべての医療・介護・福祉職対象のネットワークが「暮らしの相談支援者ネットワーク」です。

「えん（円、縁）のない人への支援」には、多くの職種の連携が欠かせません。お互いの仕事を知り顔が見える関係を築いていくこと、SOSを出せない人に気づけるようになることを目指して、研修会や事例検討等に取り組んでいます。（事務局：区役所生活支援課・福祉保健課、鶴見区社会福祉協議会、ケアプラザ、汐田総合病院総合ケアセンター）



R7年2月に開催した研修会のチラシ

◆安心して自分らしく日々を過ごせるよう、権利を守る取組を進めます

区役所	<ul style="list-style-type: none"> ・さいごまで自分らしく生きるための備えについて、元気なうちから考える機会を増やします。 ・虐待の未然防止、早期発見に向けて関係機関と連携し取り組みます。 ・防犯について普及啓発を進め、犯罪から身を守る力を高めます。
区社協	<ul style="list-style-type: none"> ・あんしんセンター機能を活かし、金銭管理に不安のある高齢者や障害のある方などが安心して暮らせるよう支援します。 ・福祉教育や啓発イベント、権利擁護周知などを通じて、多様な立場の方への理解を深めるよう取り組みます。
地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待の未然防止・早期発見に向けて、関係機関と連携して取り組みます。 ・地域住民へ理解を促します。 ・講座などを通じて権利擁護に関する情報提供や制度の理解促進に取り組みます。

取組例

○高齢者や障害者の権利擁護支援

成年後見制度の利用促進、鶴見区版エンディングノート「わになるノート」の普及啓発、あんしんセンターでの金銭管理などの支援など

○高齢者等の防犯意識の向上

警察と連携した特殊詐欺防止等の普及啓発など

○誰もが安全・安心に生きていくための理解促進

区内小中学校などでの福祉教育など

障害児・者とその家族が地域で生き生きと生活できる環境づくり～自立支援協議会の取組～

鶴見区では、障害児・者が自分らしく地域で暮らしていけるよう、地域全体で連携し支援することを目的とした地域自立支援協議会を設置し、活動を続けています。

協議会では、定期的な会議のほか、様々な機関・団体とも連携し、障害者理解促進のための啓発イベントなども行っています。

また協議会には「相談部会」「精神保健福祉部会」「障害児関係機関連絡会」など様々な部会も設置し、情報共有や研修会など各種の取組も行っています。



それぞれの人に合った防災への備えと支え合い

～防災訓練や災害時要援護者支援に関する地域の取組～



・防災訓練への障害のある方の参加

駒岡小学校地域防災拠点では、令和5年度、視覚障害のある方から「ぜひ訓練に参加したい」という声をいただいたことをきっかけに、障害当事者の参加の取組が進んでいます。

令和5年 視覚障害のある方が初めて訓練に参加
令和6年 訓練でミニ講座

視覚障害者に加え、地域作業所や
特別支援学校職員、障害児放課後デイ
サービスの利用者・職員が参加

運営委員の方は「地域には色々な方がいて、避難所にも様々な人が来ることをみんなに知っていて欲しい。」と話します。この取組は、障害がある方の地域での生活の安心につながるだけでなく、相互理解を深めるきっかけにもなっています。

・災害時要援護者名簿の活用

鶴見区では、災害時に避難行動が困難だと考えられる高齢者・障害者などの名簿を作成し、地域の皆さまに提供しています。

地域では、地域ごとの状況に応じてこの名簿を活用し、平時からの関係づくりや防災への備えを進めています。



詳しくは
こちら



鶴見区災害時要援護者支援ガイド



明るい社会をめざして…「社会を明るくする運動」

～更生保護の取組～

「社会を明るくする運動」とは、犯罪や非行の防止と、立ち直り支援への正しい理解を深めていただくための啓発・広報活動です。

鶴見区では、鶴見区更生保護協会・鶴見保護司会・鶴見区更生保護女性会といった、犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支える民間のボランティア団体などが中心となり、毎年各地区で、講話、啓発資材の配布や掲示、街頭でのキャンペーンといった活動を行っています。

生麦第二地区では「社会を明るくする運動」の講演会の中で「あいねっと」をテーマに取り上げ、地域で実施している様々な活動が地域の「つながり」「支え合い」につながっていることを改めて気づく機会になりました。



令和7年度

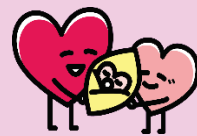
社会を明るくする運動講演会の様子



子育て支援の取組～妊娠中から子育て期にかけての切れ目のない支援～

鶴見区では、妊娠期から育児期まで切れ目のない支援を行っています。妊娠届の提出で母子健康手帳が交付され、妊婦健診の補助が受けられます。妊娠中には、出産や育児の準備を学べる「母親・両親教室」が開催され、妊婦さんとパートナーが安心して赤ちゃんを迎えるための準備ができます。さらに、地域子育て支援拠点「わっくんひろば」では「プレママ・プレパパの会」が開かれ、地域とのつながりを提供しています。出産後は「こんにちは赤ちゃん訪問」や「赤ちゃん会」で育児の相談や交流ができ、「わっくんひろば」では親子が自由に遊び、相談できる場も整え、妊娠から育児まで地域全体で子育てを支えています。

横浜市では令和6年度から、児童福祉法の改正に伴い、すべての妊産婦・子育て世帯・こどもへの相談支援を強化するための「こども家庭センター」機能を先行区のひとつとして、鶴見区こども家庭支援課に設置しています。



母親・両親教室の様子

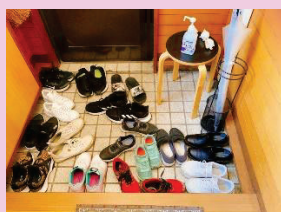
人によって、
悩みや困り
ごとはさま
ざまだね。

介護に関する課題のある方への支援～ヤングケアラー・ダブルケアなど～

本来大人が担うような家族のケアを担う18歳未満のヤングケアラーや、複数のケア（世話・介護・育児等）を同時に担うダブルケアラーは、これまで家族の問題とし、家庭内で抱え込まれてきました。

横浜市では、令和7年3月に「横浜市ヤングケアラー支援の手引き」を取りまとめ、「支援に向けたはじめての一步」を掲げて、各部署が連携をして支援にあたることの重要性を示しました。

また、鶴見区内の一般社団法人 Omoshiro では、ケアが必要な家族とそこで暮らす子どもたちへ「親子まるっと伴走支援」を実施しています。ケアは「人と制度と居場所につながるチャンス」と発信しながら、親子の暮らしのサポートや子どもたちの学びのサポートを日々行っています。



いろいろな
場所につな
がっていると、
相談にも
つながりや
すくなるね。

生活困窮者支援の取組～家計のやりくりに関するご相談、ひきこもり支援～

家計相談

お金のやりくりについて、収入と支出を確認した上で、個々の課題や問題を整理し、一緒に解決方法を考えます。借金の返済をどうしよう、今月はお金が足りない…というお悩みまでお気軽にご相談ください（秘密厳守で対応します）。

保険や金融商品を勧めることはありません。一人ひとりに担当者がつくので、安心してご相談ください。



ひきこもり支援

高齢の親と同居していたところ、親が他界し生活に困り、仕事を探したいというご相談や、家族がひきこもっていることを心配する親御さんからのご相談も受けています。ひきこもりは、本人や家族が助けを求めにくいため、地域の皆さんの気づきと支援機関へのつながりがとても大切です。ひきこもりの方が一歩を踏み出せるよう、相談を通じて、社会参加の場づくりや、地域の活動へのつながりも行っています。

「クリスマス・ランタンフェスタ 2024」では、東部ユースプラザと協同でランタンを作成 ▶



相談できる窓口を、あらかじめ知っておくと安心だね。



あの人にも、教えてあげたいな…♡

～性的少数者(LGBT)の方等への支援～

100 人いれば 100 通り
性のあり方は、みなそれぞれ。

同性が好き

男性でも女性でもない、私は私

など

性のあり方について悩んだときには、相談できる窓口があります。

このテーマで勉強会を企画している地区も出てきています。身近な人たちで話し合いながらお互いを尊重していきたいですね。

横浜市性的少数者等支援事業



詳しくは
こちら



～犯罪の被害にあわれた方への支援～

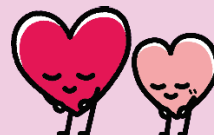
もし、あなたや、あなたの大切な人が犯罪の被害にあってしまったら…。

「横浜市犯罪被害者相談室」では、被害後に直面する様々な問題について、必要な情報のご案内や、条例に基づいた制度などを活用した支援を行います。

横浜市犯罪被害者等相談支援事業



詳しくは
こちら



- 年齢や障害などに関わらず、その人の状態に合わせて健康づくりの場に参加できる
- 若いころから健康づくりに関われる
- 年齢や障害等に関わらず、ボランティアや地域活動等に参加し、居場所や役割が持てる機会がある

自分で・家族で



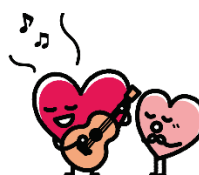
- ・自分のやりたいこと、好きなことや趣味を楽しもう。
- ・自分や家族みんなの健康について考えよう。
- ・良い生活習慣（食事、運動、休養）を心がけよう。
- ・定期的に健診を受けて自分の体の状態を確認しよう。
- ・疲れたとき、つらいときはこころと体のセルフケアに取り組もう。



きれいな景色を
見ながらのお散歩は
気持ちがいいよ

疲れたら早く休もう

好きなことにもっと夢中になろう！



なかまで・地域で



- ・元気のない人がいたら声をかけあおう。
- ・楽しく、無理のない活動を考えていこう。
- ・子どもから大人まで、楽しく「健康づくり」に参加できる内容のイベントを考えよう。
- ・気軽に「健康づくり」に取り組めるイベントを考えよう。
- ・だれもが参加できる交流の場（サロン、居場所）を増やしていこう。
- ・特技や趣味、経験を生かすことができる居場所や活動を作っていこう。
- ・新たな団体とのコラボレーションも考えよう。

“元気”のバトンをつなごう～子どもころからの健康づくり～

子どもころからの生活習慣や健康状態は、大人になってからの健康につながります。
子どもころから、家族ぐるみで取り組みましょう。

幼少期からの健康
づくりが大人になっても
つながるイラスト



子どもも大人も寝る前は、スマホ
はOFFに

朝ごはんおいしいね



居場所が育む大きなつながり

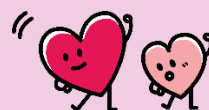
地域の中に様々な居場所があると…

人と人が出会うきっかけになり、ふれあい・つながり・助け合いが生まれます。

「居場所の効果」

「いきがい」づくり
「心」のやすらぎ

介護予防・
認知症予防



経験や能力を活
かすことができる

引きこもり・
孤立予防

多世代が集う居場所のイラスト

「仲間」づくり

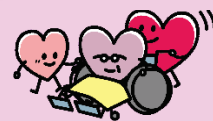
子どもから高齢者
までの多世代の交流



安心・安心な地域
づくり

隣近所の顔が見える関係
や地域の支え合い

きっと何とかなるよ～



仲間が増えて、地域の助け合いの輪が広がります

居場所紹介

健康づくりは“誰かと一緒に”が合言葉～元気づくりステーション～

元気づくりステーションとは、身近な場所で元気なうちから健康づくりや介護予防の活動を行う自主的なグループです。鶴見区内には16か所※の居場所があります。ウォーキングや体操などを通し、参加者本人が元気になると共に、仲間や地域も元気になることを目指しています。（※R7年7月現在）



子どもも大人も、みんなの居場所～子ども食堂・地域食堂～

「子ども食堂」や「地域食堂」は、食事を通じて人と人がつながる、ほっとできる居場所です。鶴見区内には16カ所※の食堂があります。

子ども食堂では、子どもがひとりでも安心して来られて、楽しく食事ができます。友だちと話したり、地域の人とふれあったり、心温まる時間が過ごせます。地域食堂は、子どもだけでなく、大人も高齢の方も、誰もが集まれる食堂です。世代をこえてつながりが生まれ、地域の絆が深まる場所になっています。

（※R7年6月現在）



詳しくはこちら

鶴見区子どもの居場所(子ども・
地域食堂、学習支援等)

区役所・区社協・地域ケアプラザで

◆「心と体の健康」につながる活動を増やしていきます

共通	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な団体、世代が興味・関心をもてる内容や手法を検討し、取組を進めます。 ・地域の活動に寄り添い、継続的な活動となるよう支援します。
区役所	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児から高齢者までのライフコースアプローチ※を意識し、効果的な情報発信を行います。 ・保健活動推進員や食生活等改善推進員等とともに地域の健康づくり活動を進めます。また、学校、企業等と連携して活動を進めます。 ・うつ病、依存症など、こころの病気に対する理解を促し、心の健康づくりを進めます。 <p>※胎児期から高齢期に至るまでの人の生涯を経時的に捉えた健康づくり（第3期健康横浜 21）</p>
区社協	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協などによる取組を共有し、身近な地域で参加できる活動が増えるよう支援します。 ・様々な課題解決を目指す取組が生まれるよう、地域住民が集える場づくりを支援していきます。
地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢者、障害者など誰もが、集い・学び・語らい・活動する機会と場を提供し、地域活動に繋がるよう支援します。 ・地域に身近な相談先として、福祉・保健に関する専門の相談、連絡調整を行います。

取組例

○健康づくり・介護予防

健診、がん検診の啓発、ウォーキング普及、フレイルの予防啓発、食育、ゲートキーパー研修等

○学校や企業等と連携した取組

命の授業、GOGO 健康講座、地域防災拠点訓練での歯科医師会による口腔ケア講座等

○安心して子育てできる環境づくり

親子の居場所ふらっとる一む、子育て支援拠点わっくん広場

○うつや自殺対策、本人と家族への支援

ゲートキーパー研修、メンタルヘルス普及啓発、精神福祉相談、心の病気理解に向けた研修

○健康づくりの機会を増やす取組

健康増進を意識した様々な世代向けの講座、広報誌等を通じた情報発信、ウォーキングポイント、気軽に参加できる企画の工夫

○住民の個性を活かせる場・機会づくり

サロンやサークル等の居場所支援、地域活動の情報発信

誰もがゲートキーパー ～誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指して～

鶴見区では「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現を目指し、心の悩みを抱える方々への支援体制を強化しています。その一環として、毎年、相談業務に従事する職員を対象に自殺対策研修会を実施し、自殺予防に関する知識と寄り添う姿勢を養っています。また、鶴見図書館にて自殺予防週間に合わせたパネル展を開催するなど、行政や福祉職員だけでなく、地域に暮らす一人ひとりが“いのちのゲートキーパー”として、苦しむ人の SOS に気づき、声をかけ、つなぐ存在となり、区民全体で支え合える温かな地域づくりを目指しています。



◆交流、生きがい、楽しみを持つことができる活動・場・機会を増やしていきます

共通	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中で、生きがいや楽しみを見つけることの重要性を伝えていきます。 楽しみを感じ、自らの役割を見つけることができ、自分の居場所であると感じることのできるような場や機会を設けていきます。 「参加してみたい」「参加できそう」という人を増やすために、多様な興味・関心に合わせた活動を用意し、周知します。 誰もが身近な場所で活動に参加できるように、活動場所までの移動手段等の課題解決に向け、地域の方々とともに検討します。
区役所	<ul style="list-style-type: none"> 地域の拠点となる施設がその役割を果たせるよう、持っている機能を高め、活用していきます。
区社協	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアセンターなどで活動者自身の趣味や特技を活かせるもの、地域へ出るステップにつながるものなど、様々な活動を紹介できるよう工夫します。 新たなつながりや場・機会が生まれるよう、区内各地域の活動やボランティア情報を区社協のホームページや広報誌などで発信していきます。
地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動のさらなる広がりに向けて、世代や分野を超えた様々なつながりを持てるようコーディネートしていきます。 地域ケアプラザの場を活かし、地域住民が気軽に集い、交流できる機会づくりを進めます。

取組例	○地域活動の支援
	NP0 や地域活動団体の活動支援・情報提供・発信、補助金団体の活動交流会、区民活動センターによる支援、まつりや文化イベントなど区民や団体の交流を深める取組
	○活動を共有し認め合う機会や場づくり
	鶴見・あいねっと推進フォーラム、つるみ MACHI 塾、鶴見・まちづくりゼミナール、つるみ区民活動センターまつり
	○施設の整備・機能強化
	地区センター、コミュニティハウス、地域ケアプラザなど、集える場所としての機能強化
	○ボランティアの活動支援
	ボランティア講座、ボランティア・市民活動団体分科会、地区社協分科会、子どもの居場所連絡会
	○交流や生きがい、楽しみをもつことができる活動への支援
	年齢、障害の有無に関わらず参加できるボッチャやモルック大会、障害児余暇事業、よこはまシニアボランティアポイント事業

ボランティア活動ははじめませんか？～よこはまシニアボランティアポイント～

よこはまシニアボランティアポイントとは、65 歳以上の方が、介護施設等でボランティア活動を行うと、ポイントが貯まり、寄付や換金ができる仕組みです。

シニアパワー、
100%！！



詳しくはこちら

第5期計画の評価指標

今後の第5期計画の推進状況を把握するため、下記6つを取組の評価指標としています。

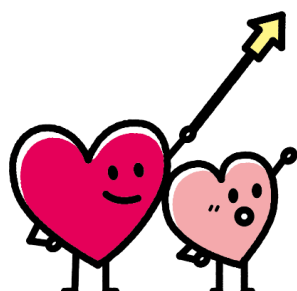
第5期計画でも、取組を進めていくことで地域の交流が深まり、住民が安心して健やかに暮らせる住みよいまちになることを目指していますが、下記指標値の上昇は一人ひとりの幸せにつながるとともに、幸せな生活をみんなで支える地域の実現に近づく一つの目安となります。

指標	考え方	直近の推移			目標値
定住の意向	区民アンケートにおいて、現在お住まいの地域に、これからも住み続けたいと「思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合	74.8% (平成26年度)	—	85.1% (令和6年度)	↑
地域活動への参加状況	区民アンケートにおいて、ご近所や区内で行われている何らかの「活動に参加している」割合	—	27.5% (令和元年度)	27.9% (令和6年度)	↑
災害時の助け合い意識	区民アンケートにおいて、災害時の地域の助け合いには日頃からの顔の見える関係が「とても必要だと思う」「必要だと思う」を合わせた割合	91.5% (平成26年度)	85.5% (令和元年度)	86.0% (令和6年度)	↑
健康診断の受診率	区民アンケートにおいて「この1年間に健康診断を受けた」割合	77.8% (平成26年度)	80.1% (令和元年度)	82.2% (令和6年度)	↑
歯科健診の受診率	区民アンケートにおいて「この1年間に歯科健診を受けた」割合	52.9% (平成26年度)	57.4% (令和元年度)	67.6% (令和6年度)	↑
地域の居場所数	区内の「地域子育て支援拠点」「つるみ・ふらっとるーむ」「親と子のつどいの広場」、高齢者の「居場所・サロン」「認知症カフェ」等の介護予防に資する住民主体の通いの場等、地域の居場所の合計	161 か所 (平成28年度)	263 か所 (令和元年度)	419 か所 (令和6年度)	↑

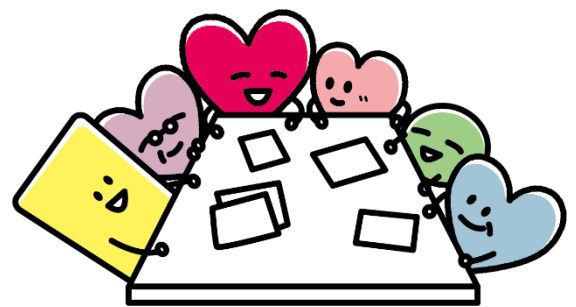
第5期鶴見・あいねっとの評価指標について

第5期鶴見・あいねっとでは、第4期と同様、指標の目標を上昇(↑)と設定しています。

評価指標は、地域の福祉や保健活動の進捗を確認するためのいわば「みちしるべ」としての役割を果たしますが、最も大切なのは、目標に向かって進んでいく過程で地域の皆さんがともに考え、話し合い、協力していくことです。この過程での対話や協力は、地域の絆を深め、共通の理解を築くための貴重な機会となります。



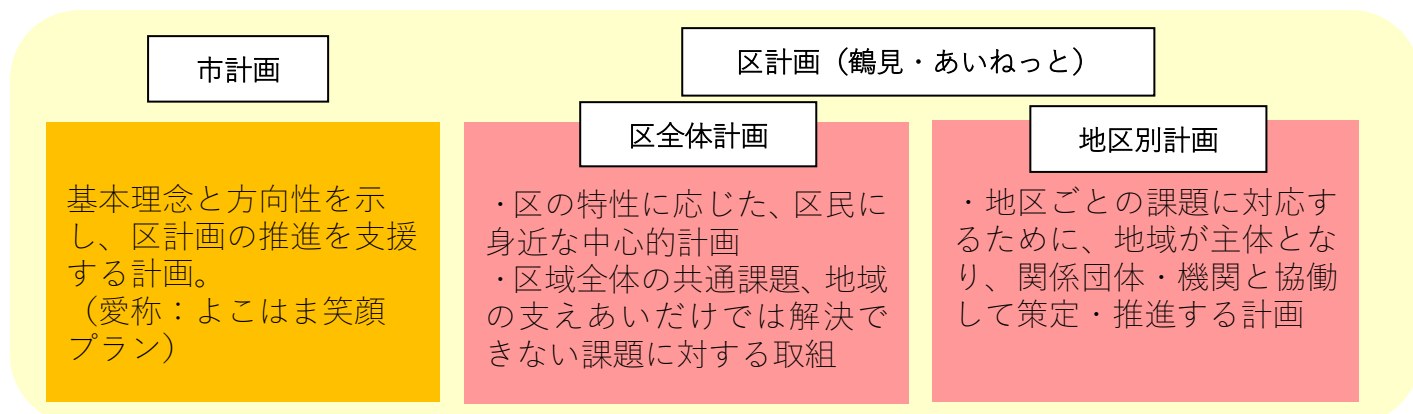
まずは、地域のみなさんで話し合う機会を設定してみませんか？
区役所・区社協・ケアプラザなどで構成する「地区別支援チーム」も、サポートさせていただきます！



【寺尾地区あいねっと地区懇談会に旭小学校の児童が参加】

市計画との関係

横浜市地域福祉保健計画は、横浜市全体の基本理念と方向性を示す「市計画」、市内 18 区ごとの特性に応じた「区計画」、地区ごとの課題に対応した「地区別計画」で構成されています。



(1) 第1期計画の経過 平成17年度～平成21年度

18区の中で先行して策定する区の一つとして、平成17年3月に、区計画及び地区別計画が策定されました。

【基本理念】 地域社会のつながりをつくります
必要な人には確実に支援が届く仕組みをつくります
互いに支えあう相互扶助の地域社会をつくります

(2) 第2期計画の経過 平成22年度～平成27年度

第1期計画では、「地域福祉保健計画」と区社会福祉協議会の「地域福祉活動計画」が連動して、地域の福祉保健活動を総合的に下支えすることとしていましたが、第2期計画からは、区と区社協が策定プロセスを共有し一体的な計画として策定しました。

【基本理念】 健康で住みやすい福祉のまちに！
【推進の柱】 一つ目の柱 つながりのある地域づくり
二つ目の柱 必要な人に支援が届く仕組みづくり
三つ目の柱 互いに支えあう地域社会づくり

(3) 第3期計画の経過 平成28年度～令和2年度

第3期計画では、基本理念の実現を目指して3つの「推進の柱」を掲げ、その柱に沿って地域の皆さん、区役所・区社協・地域ケアプラザ等が連携し、取組を進められるよう策定しました。

【基本理念】 たすけあい・支えあい・人と人とのネットワーク
【推進の柱】 一つ目の柱 つながりのある地域づくり
二つ目の柱 必要な人に支援が届くしくみづくり
三つ目の柱 健やかに暮らせる地域づくり

(4) 第4期計画の経過 令和3年度～令和7年度

67 ページ「第4期計画の振り返り」をご覧ください。

地域みなさんの力だね！

長く続いている計画なんだね！



【各地区の地区別計画】

18 地区ごとに第 5 期計画で力を入れたいことや、計画の策定経過をまとめています。

- ①矢向地区連合町内会
- ②市場地区自治会連合会
- ③市場地区第二自治連合会
- ④鶴見中央地区自治連合会
- ⑤潮田中央地区連合会
- ⑥潮田東部地区自治会連合会
- ⑦潮見橋地区連合会
- ⑧潮田西部地区自治連合会
- ⑨小野町地区自治連合会
- ⑩生麦第一地区連合会
- ⑪生麦第二地区連合会
- ⑫豊岡地区連合会
- ⑬寺尾地区自治連合会
- ⑭寺尾第二地区連合会
- ⑮駒岡地区連合会
- ⑯上末吉地区自治連合会
- ⑰法人下末吉連合会
- ⑱江ヶ崎町内会

誰もが安心して暮らせる矢向のまち
支え合い 笑顔で見守る 市場地区
はじける笑顔があふれる市場第二
健康と防災でみんながつながる鶴見中央

つながりの街 USHIODA

声かけて 心がつながる 潮田東部

ふれあい 支えあおう 潮見橋

“安心・安全・支え合い 人が育む まちづくり”

地域みんなでつながろう

人とひととのつながりを大切に育てます。

みんなの笑顔が みんなの健康が なまに（生麦第二地区の愛称）の元気の源

みんながつながるまち豊岡

ふんわりとしたつながりで、絆を強めよう！みんなが寺尾の応援団

世代を超えて未来につなごう 地域の輪

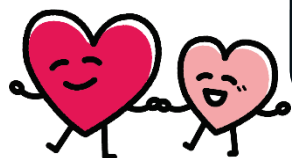
～地域みんなでつながる町 駒岡～

まわりが見える住みよいまち 上末吉

さらに“つながる”まち下末吉を目指して

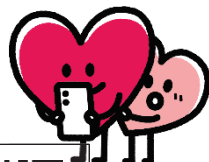
支えあう・助け合う町 江ヶ崎

記載のキャッチフ
レーズは第 4 期の
内容です



地区別計画はより身近なまちの計画
だよ。個性豊かなキャッチフレーズ
が素敵だね！みんなで進めていく計
画なんだね。

これまでの地域の取組
を動画で見ることがで
きるよ！二次元コード
を読み取ってね。



地域活動の仲間を増やす工夫

さまざまな団体で、参加の裾野を広げたり参加しやすくするための工夫として、病院等いろいろな人の目に留まる場所へのちらしの配架、口コミや SNS の活用、二次元コードを活用した申込などが行われています。また、ちょっとした役割や期間限定の関わりをお願いしたり、サロンの参加者にできる範囲でお手伝いをしてもらうなど、協力者を増やす工夫もされています。

本冊子にも仲間を増やす工夫が随所に盛り込まれています

仲間を増やすってなかなか難しいよね。でも「この部分だけなら手伝えるよ」って人は案外いるのかも！？まずは周りの人に聞いてみよう！



第4期計画の振り返り・第5期計画に向けて

第4期計画の「推進の土台」ではすべての地域活動を充実される共通の要素を推進の柱から抽出・設定し、各地区や区役所、区社協、地域ケアプラザそれぞれの取組を推進してきました。

第5期計画策定に向けては、検討の場を設け第4期計画の基本的な考え方を継承しながら「推進の土台」をそれぞれの柱に吸収しました。また、大切にしたいキーワードを出し合いながらどんな地域をめざしていくのかをまとめました。

第4期計画の振り返り（推進委員会・策定プロジェクト＋区・区社協・地域ケアプラザ）

柱1：つながりのある地域づくり

キーワード
交流・多様な主体

土台：人材

＜具体的な取組＞

- ① コロナ禍以降は、実施形態を工夫しながら、イベント、地域交流の取組が行われています。一方で、担い手の高齢化や担い手不足により活動が終了した団体や、今後の継続に不安を感じている団体もあります。
- ② 各種連絡会への民間企業の参加や、若い世代の参加、新たな団体・世代とのつながりが生まれています。また、地域と学校と一緒に地域活動に取り組む地域が増えており、子どもの意見を地域活動に生かしていく視点が広がっています。
- ③ 地域や関係機関が連携しながら、地域の担い手を増やすための講座や研修会を実施しています。

柱2：必要なときに支援が届く地域づくり

キーワード
支えあい・見守り

土台：相互理解

＜具体的な取組＞

- ① 認知症カフェや介護者の集いなど、当事者や家族の孤立予防につながっています。こども食堂や地域食堂など、新たな居場所も増えています。地域情報の発信には、様々な人に必要な情報が届くよう工夫しています。
- ② 災害時要援護者名簿の活用や地域独自の見守りツールの活用、小学生の登下校時の見守り活動など、地域ごとに工夫して見守りのすそ野を広げています。
- ③ 認知症サポーター養成講座の開催やキャラバンメイト連絡会への参加、自立支援協議会などを通じた権利擁護の取組、消費者被害に関する講座の開催など、権利擁護のための取組が進んでいます。

柱3：健やかに暮らせる地域づくり

キーワード
健康

土台：場・機会

＜具体的な取組＞

- ① フレイルや閉じこもり予防講座が開催されました。また、土曜開催や託児付講座など、どのような世代でも健康づくりに参加できる工夫をしながら企画されています。また、学校と連携した子どものころからの健康づくりを考える取組も進められています。
- ② 障害の有無にかかわらず、誰でも参加者できるスポーツのイベントが実施されています。大学生と実施したイベント等、若いころから健康づくりに関わるきっかけとなりました。
- ③ ボランティア活動等のニーズが多様化しています。住民のそれぞれの力を生かす場づくりや機会づくりに取り組みました。

第5期計画に向けて

<大切にしたいこと>

将来をつくる子どもの意見を取り入れよう！

積極的に地区の情報を発信して、子ども、子育て世代に参加してもらい、つながるきっかけを作ろう。

企業や事業所等の力にも頼りながら、高齢化・担い手不足が解消できるといいな。福祉分野をこえたつながりを考えよう。

協力をしてもらえそうな団体と、地域の様々なニーズを結びつける「つなぎ役」がいるといいな。

- ★子ども・学校・若い世代
- ★分野をこえたつながり
新しいつながり方・つなぎ役
- ★つながり・交流の場
- ★高齢化・担い手不足

→多様な人や団体が参加し、
つながっている地域

活発な意見が出たね～みんなの計画だからいろいろな意見を反映させていこう！



<大切にしたいこと>

支援が必要な人が相談につながるよう様々な居場所や必要な支援につながるといいな。支援者同士の連携も大切だね。

日ごろからあいさつができる関係であれば、気にかけてもらったり、見守られている安心感があるよね。

地域には外国にルーツがある方、障害がある方、性的マイノリティの方など地域には様々な背景がある人がいることを理解しておく必要があるね。

- ★困っている人に気づく・情報が届く
- ★おたがいさまの関係
- ★一人一人の多様な背景
- ★縦割りではない相談支援

→困ったときにお互いに気づき、
助けあえ、支援が届く地域

<大切にしたいこと>

誰もが参加したいと思える健康づくり講座や居場所があるとよいな。

健康づくりに興味をもってもらうために、また子どものころから健康意識を高めもらうために、企業・学校等とコラボできるといいね。

得意なことを地域で生かせる場があるといいね。自分の役割が地域の中であると健康につながるよね。

- ★誰でも参加できる
- ★楽しい内容・コラボ
- ★認知症の理解
- ★用事や役割がある＝健やかでいられる

→心も体も健やかでいられる地域

鶴見・あいねっと推進委員会 / 策定検討プロジェクトのメンバーの団体・活動紹介

鶴見区では、地域の皆さんが「顔の見える関係づくり」を大切にしながら、福祉・防災・子育て・健康づくりなど、さまざまな分野で活躍しています。推進委員会・策定検討プロジェクトのメンバーは、こうした地域の力を結集し、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指して、鶴見区全体の取組を考えていく役割を担っています。

自治連合会

～「顔の見える関係づくり」を大切に～

区内には126の自治会・町内会があり、自主的に地域福祉活動・レクリエーション活動・防災防犯活動などに取り組んでいます。

この単位自治会が地域ごとに集まって、17の地区連合町内会を形成しており、顔と顔の見える関係づくりを大切に、区民の皆さまや関係機関とともに地域の福祉・環境・防犯・防災等、さまざまな課題解決に取り組んでいます。



地区社会福祉協議会

自分の地域は自分たちで良くしていこう

地域住民の最も身近な福祉活動を行う団体として組織された地域住民による任意団体です。「一人ひとりの困りごとを解決できる地域づくり」を目的として高齢者食事会・見守り活動・親子の集い・福祉保健講座・広報紙発行など、各地区の実情に合わせて様々な活動を行っています。



民生委員・児童委員協議会

～地域の「身近な相談相手」として～

区民を取り巻く環境が複雑化する中、常に住民の立場に立って人々の暮らしを支え、支援が必要な人を見逃さないよう「見守り活動」を行っています。住民と専門機関をつなぐパイプ役として、やりがいをもって活動しています。



保健活動推進委員

地域の皆さんの健康づくりを応援します！

ウォーキングや体操教室、健康測定会、子育て支援など、さまざまな健康づくりの活動を行っています。地域の皆さんが“楽しく”健康づくりに取り組めるよう、これからも、笑顔あふれる健やかな地域を目指して、みなさんと一緒に活動していきます。



スポーツ推進委員連絡協議会

スポーツで笑顔あふれる街づくり・仲間づくり

ポッチャやソフトボールの大会では、子どもも大人もみんなが主役！笑い声が響く会場では、ハイタッチしたり、応援したりとにぎやかです。スポーツやレクリエーションを通じた、世代をこえて地域がつながる、活動をすすめています。



鶴見区老人クラブ連合会

おはようさん!!今日も元気であしたもネ

～仲間づくりを通し、生きがいと健康づくり～

高齢者の自主的な組織として生活を豊かにする楽しい活動を行っています。ポッチャ大会、パタンク大会、グラウンド・ゴルフ大会やカラオケ大会など、知識や経験を活かして長寿社会の実現や保健福祉の向上を目指しています。



地域ケアプラザ

あなたの近くに！地域ケアプラザ

誰もが地域で安心して暮らせるよう、身近な福祉・保健の拠点となる施設です。支援を必要としている方の相談窓口やボランティア等の活動場所の提供、催しの開催などを行っています。区内を9ヶ所のエリアにわけて、地域の方とともに、地域づくりに取り組んでいます。



鶴見区地域子育て支援拠点

「わっくんひろば」「わっくんひろばサテライト」

ふれあい広がる 子育てひろば

0歳から就学前の子どもとその保護者、妊娠中の方とご家族が利用できる、登録制・無料の子育て支援施設です。ひろばでの交流や親子のふれあい、子育て相談、情報提供などを行い、地域のつながり合いを大切にしながら、安心して子育てできるまちづくりを目指しています。



鶴見国際交流ラウンジ

多文化共生のまちづくり

多文化共生の地域づくりの拠点となる公共施設です。鶴見区多文化共生基本指針に基づきだれもが安心して豊かに生活できるよう、多言語での相談対応や情報提供のほか、日本語教室や外国につながる子どもたちの学習支援教室、未就学児の保護者向け生活ガイダンス、異文化体験イベントなどの事業を行っています。



まめっこひろば(横浜市乳幼児一時預かり事業)

♡子育て中の方が笑顔になれるように♡

【預かり保育】や親子で集まれる会の開催などを通じて、子育て家庭の応援をしています。子育て中のママが心や体が疲れてしまう前に、ほんの少しお子さんと離れ、自分を取り戻す時間を持てると余裕が生まれ少し心が軽くなって笑顔になれたりします。ママが頑張りすぎないでいられるようなお手伝いができたらと思っています。



つるみ地域活動ホーム幹

地域とともに心を飾る

隣接する公園に七夕やクリスマスの飾りつけを、施設利用者や地域住民とともに取り組んでいます。公園利用者からは「今年もきれいだね」といった温かい言葉もいただくようになり、こうした活動を通じて、障がいの有無に関係なく「ともに支え合う」地域づくりを今後も目指していきたいと考えています。



介護者の集い おりづる会

介護者の横のつながりを大切に

おりづる会は、家庭で高齢の家族を介護している人の負担を少しでも軽減するため、2000年に設立されました。介護の苦労や悩みなどを打ち明けあうつどいの開催を通じて、介護者の心のケアや横のつながりづくりを行っています。



鶴見区視覚障害者福祉協会

会員同士だけでなく、社会とのつながりも大切に
鶴見区視覚障害者福祉協会は、視覚障害者の生活と福祉の向上を目指して1970年に設立されました。

映画鑑賞、カラオケ、バスハイクなどの行事や「見えない方」「見えづらい方」の相談会の開催のほか、他ボランティア団体との交流も大切に活動を続けています。



鶴見区精神障害者家族会 のぞみ

こころの病を持つ方のご家族同士の支えあい

懇談会、バスハイク等を通じ、同じ立場の家族が話し合い、交流しています。また専門家を招いての講演会では、病気についての理解や対応の仕方を学んでいます。家族会役員による家族相談も実施しています。(毎月第2水曜日の午後2時から4時まで。鶴見区在住のご家族が対象)



鶴見区社会福祉協議会 ボランティア・市民活動団体分科会

ネットワークを活かしてささえあいのまちづくり
区内のボランティア・市民活動団体35団体が、定例会や交流会での情報交換、スキルアップのための研修などを行っています。また、団体紹介カードを活用し、お互いの活動を知り、より一層の連携につなげています。

例年、鶴見・あいねっと推進フォーラムで各団体のパネル展示を行い、活動の周知に努めています。



中学校

鶴見区子どもたちが育てる「地域との絆」

区内には10校の市立中学校があります。地域に もっと愛着を持ち、暮らしやすいまちにしてい くために、地域清掃、お祭りへの参加、地域の課題を話し合う場への参加など様々な活動に取り組んでいます。活動を通じて、「自分のまちが好き」「地域の人とつながっている」という気持ちを育てています。



株式会社メディコラボ研究所(学識経験者)

～安心して地域で暮らしつづけられるように～

多職種や地域の方々と連携し、切れ目のない支援を大切にしています。医療を通じて、地域の「つながり」を育み、安心して暮らせるまちづくりを目指しています。ご縁をいただき「鶴見・あいねっと」に20年にわたり関わっています。



一般社団法人Omoshiro

鶴見区内にて「親子まるっと伴走支援」を掲げ、ケアが必要な家族とそこで暮らす子どもたちへの福祉サービスの調整、放課後の居場所づくりなどを行っています。

全ての子どもの安心と希望の実現を目的に、オモシロがる大人たちとのつながりの中で挑戦していくことを日々楽しんでいきます。



鶴見区特化型ポータルサイトこれつる～日々是つるみ～

鶴見区の「情報拠点」を目指す鶴見区特化型の情報発信サイトです。※「ポータル」＝「入口」ジャンルや世代問わず魅力的な活動や人を取り出し情報を流通させるとともに、地域の課題解決のために顔の見えるつながりも生み出そうとイベント等も企画。楽しく住み続けられるまちを目指して活動しています。



(一社)鶴見交通安全協会

交通事故のない安全な街づくりを目指しています。「はまっ子交通安全教室」等で交通指導員が子ども達に自転車の乗り方等を教える他、春夏秋冬の交通安全期間中の啓発物品の配布、ランドセルカバーの制作等を実施しております。



鶴見・あいねっと推進委員会委員 / 第5期計画策定検討プロジェクトメンバー 名簿

(令和6・7年度)

	氏名	所属団体等	備考
1	石井 キヨ子	鶴見区社会福祉協議会 ボランティア・市民活動団体分科会 分科会長	
2	板山 重樹	駒岡地域ケアプラザ所長	
3	祝出 真紀子	鶴見区地域子育て支援拠点 「わっくんひろば」施設長	
4	押山 道代	横浜市乳幼児一時預かり施設 まめっこひろば 施設長	
5	小林 広子	鶴見国際交流ラウンジ 館長	
6	小林 政晴	鶴見区自治連合会福祉保健部長(小野町地区自治連合会会長) 鶴見区民生委員児童委員協議会 会長	
7	斉藤 達之	つるみ地域活動ホーム 幹 施設長	
8	清水 和枝	鶴見区介護者の会 おりづる会 世話人代表	
9	巴 伸一	鶴見区スポーツ推進委員連絡協議会 会長	
10	八森 淳	株式会社メディコラボ研究所 代表取締役(つながるクリニック 院長)	
11	日向 邦夫	鶴見区老人クラブ連合会 会長	
12	平森 義教	鶴見区中学校長会 理事(横浜市立 市場中学校校長)	
13	福井 司臣	鶴見区精神障害者家族会 のぞみ 会長	
14	増子 眞智子	鶴見区保健活動推進委員会 会長	～令和6年度
	芦沢 年子	// 副会長	令和7年度～
15	松坂 治男	鶴見区視覚障害者福祉協会 副会長	
16	宮野 昌夫	鶴見区社会福祉協議会 地区社協分科会 分科会長	
17	大野 慶太	鶴見交通安全協会 会長 東宝タクシー株式会社 代表取締役 一般社団法人全国子育てタクシー協会 会長	※
18	勝呂 ちひろ	一般社団法人 Omoshiro 代表理事	※
19	浜田 貴也	鶴見区特化型ポータルサイトこれつる～日々はつるみ～編集長	※

(敬称略・五十音順)

※第5期策定検討プロジェクトのみ参加のメンバーです。

・表記は令和7年度時点のものです。

■ 鶴見・あいねっと推進委員会

第5期の方向性の確認、計画全体構成等について確認を行いました。



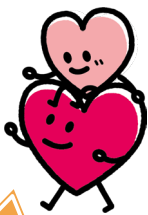
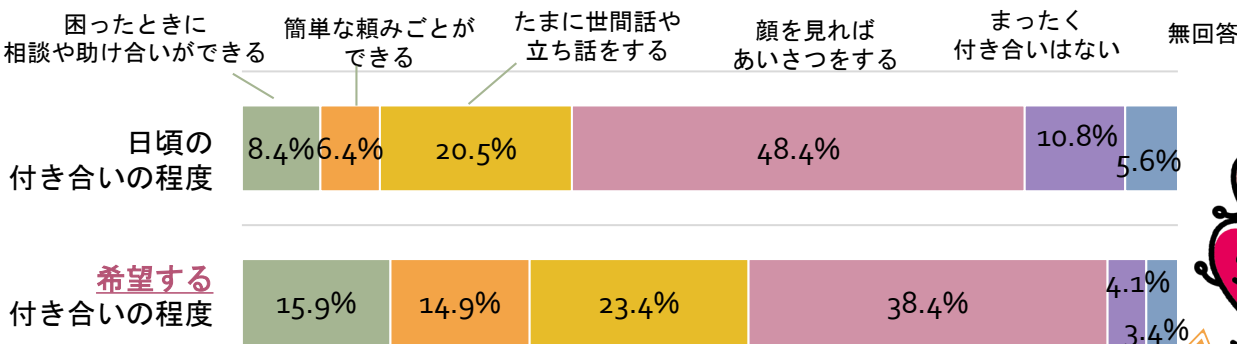
■ 第5期策定検討プロジェクト

第4期の振り返り、第5期計画に向けて新たに取り組む視点等について話し合いました。



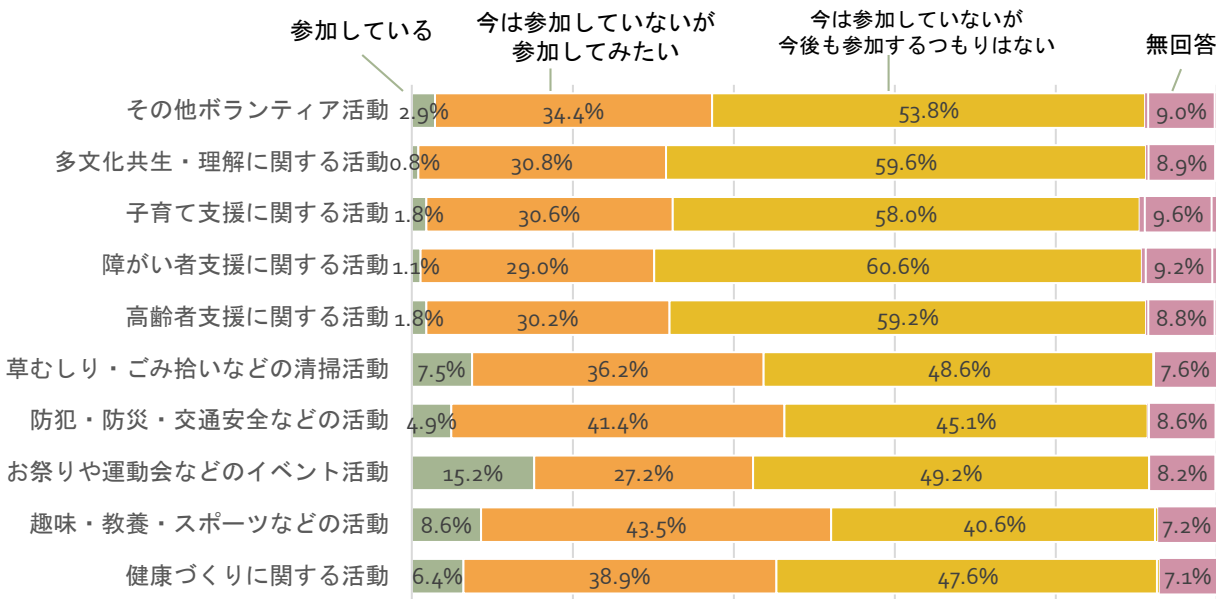
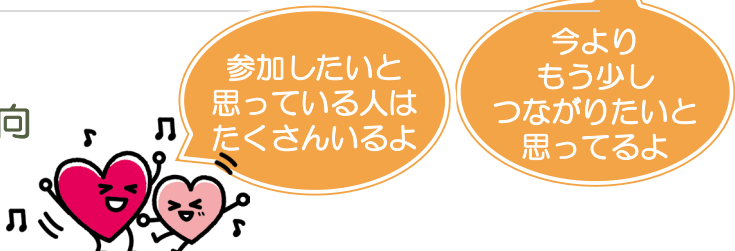
●近隣との関わりについて

日頃、近所の人とどの程度の付き合いをしていますか？/どの程度の付き合いを望みますか？



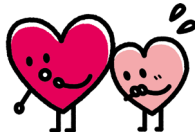
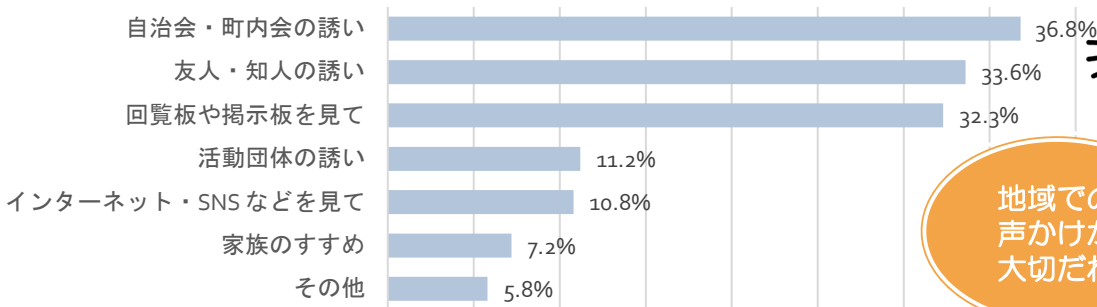
●地域活動への参加状況・参加意向

次のような活動に参加していますか？



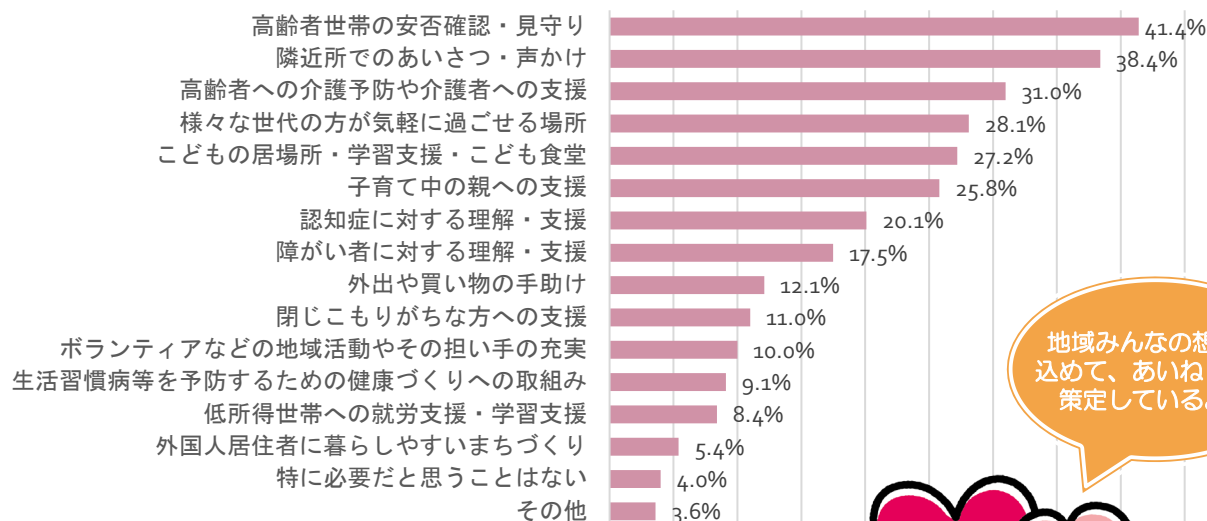
●活動に参加したきっかけ

活動に参加したきっかけは何ですか？

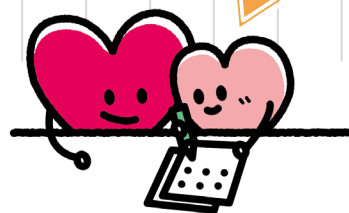


●充実するとよいと思うこと

地域がもっと住みやすくなるために、どのようなことが今後充実するとよいと思いますか？

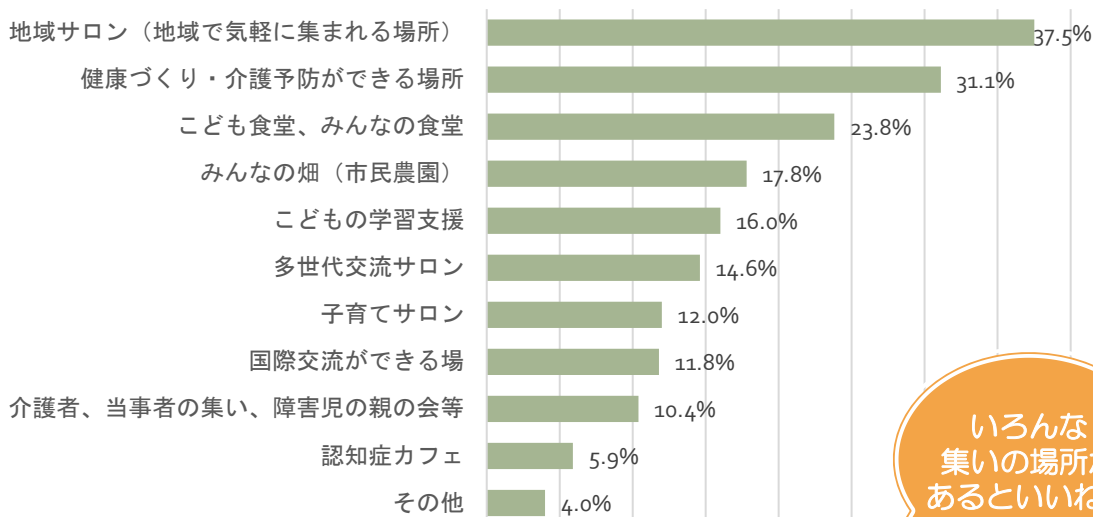


地域みんなの想いを
込めて、あいねっとを
策定しているよ！

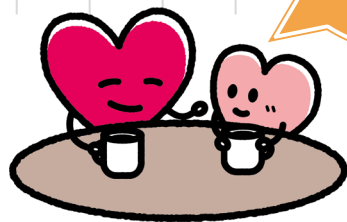


●あったらいいと思う交流の場

地域の中で、あったらいいと思う交流の場は何ですか？



いろんな
集いの場所が
あるといいね！



令和6年度第5期鶴見区地域福祉保健計画区民アンケート調査
詳しい結果報告書はこちら





1 地域ケアプラザ（自分自身やご家族のことで不安なことがある場合の問合せ先）

施設名	所在地	電話番号(045)	FAX(045)
潮田地域ケアプラザ	鶴見区本町通4-171-23	507-2929	507-2930
矢向地域ケアプラザ	鶴見区矢向4-32-11	573-0020	573-0027
寺尾地域ケアプラザ	鶴見区東寺尾6-37-14	585-5566	585-5737
東寺尾地域ケアプラザ	鶴見区東寺尾1-12-3	584-0129	570-6202
駒岡地域ケアプラザ	鶴見区駒岡4-28-5	570-6601	570-6602
鶴見市場地域ケアプラザ	鶴見区市場下町 11-5	504-1077	500-6677
鶴見中央地域ケアプラザ	鶴見区鶴見中央1-23-26	508-7800	508-7808
生麦地域ケアプラザ	鶴見区生麦4-6-4	510-3411	510-3018
馬場地域ケアプラザ	鶴見区馬場7-11-23	576-4231	576-4233

近隣の地域ケアプラザにまずはお電話等にてお問合せください。

地域ケアプラザの機能等について、詳しくは二次元コードで参照ください。



《地域ケアプラザ一覧》



《地域ケアプラザ紹介》

2 鶴見区役所

課名	所在地	電話番号(045)	FAX(045)
総務課	鶴見区鶴見中央3-20-1	510-1653	510-1889
区政推進課		510-1678	504-7102
地域振興課		510-1687	510-1892
福祉保健課		510-1826	510-1792
高齢・障害支援課		510-1768	510-1897
こども家庭支援課		510-1797	510-1887
生活支援課		510-1782	510-1899

相談したい内容が決まっている場合は、区役所へお問合せいただくとスムーズです。

内容によって窓口が異なります。二次元コードもあわせてご参照ください。



《鶴見区役所の業務案内》

3 福祉保健関係・拠点施設

施設名	所在地	電話番号(045)	FAX(045)
鶴見区社会福祉協議会 (鶴見区福祉保健活動拠点)	鶴見区鶴見中央4-37-37 リオベルデ鶴声2階	504-5619	504-5616
鶴見区基幹相談支援センター (つるみ地域活動ホーム 幹)	鶴見区北寺尾4-21-20	580-5066	582-1313
鶴見区生活支援センター	鶴見区豊岡町 28-4 ハーモニーとよおか 4 階	576-3173	576-3172
鶴見区地域子育て支援拠点 わっくんひろば	鶴見区豊岡町 38-4	582-7590	582-7591
鶴見区地域子育て支援拠点 わっくんひろばサテライト	鶴見区尻手1丁目4-51	642-5710	585-0051
鶴見国際交流ラウンジ	鶴見区鶴見中央1-31-2 シークレイン2階	511-5311	511-5312
つるみ区民活動支援センター	鶴見区鶴見中央3-20-1 鶴見区役所2階	510-1694	510-1716

あなたの声をお聞かせください

第5期鶴見・あいねっと（鶴見区地域福祉保健計画）素案へのご意見・ご提案等をご記入ください。

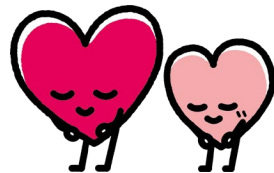
【 】 ページ
【 】 について

キリトリ

ご協力ありがとうございました。

皆様のご意見をお待ちしています

～令和 7 年 11 月 20日(木) まで～



■意見募集の内容

「第5期鶴見区地域福祉保健計画(鶴見・あいねっと)素案」へのご意見・ご提案を募集します。

■意見の募集方法

郵送、FAX、電子メール及び横浜市ホームページの電子申請フォームで、ご意見をお寄せください。郵送による応募は、下記ハガキをご利用ください。「第5期鶴見区地域福祉保健計画(鶴見・あいねっと)素案」へのご意見である旨を明記し、ご意見に関連する箇所が分かるようにご記入ください。

■送付先

郵送

〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央3-20-1
鶴見区役所福祉保健課事業企画担当 あて

FAX

045-510-1792

電子メール

tr-fukuho@city.yokohama.lg.jp

電子申請

鶴見あいねっと

検索



電子申請フォームは、こちらの
二次元コードからアクセスできます

料金受取人私郵便

鶴見局
承認

474

差出有効期限
令和7年11月
20日まで

郵便はがき

2 3 0 - 8 7 9 0

(受取人)

横浜市鶴見区鶴見中央 3-20-1

鶴見区役所福祉保健課
事業企画担当 行

キリトリ



■差支えなければ、ご記入された方についてお答え
ください。

①年代(○をつけてください。)

20歳未満 20歳代 30歳代 40歳代
50歳代 60歳代 70歳代 80歳以上

- ・いただいたご意見の概要と、それに対する鶴見区の考え方を
まとめ、鶴見区のホームページにて公表します。個別の回答
はいたしませんので、あらかじめご了承ください。いただい
たご意見の内容につきましては、個人情報を除き公開される
可能性がありますので、ご承知おきください。
- ・ご意見を正確に把握する必要があるため、電話によるご意見
は受け付けておりませんので、あらかじめご了承ください。
- ・ご意見の提出に伴い取得したメールアドレス、FAX番号等
の個人情報は「個人情報の保護に関する法律」の規定に従い
適正に管理します。
- ・いただいた情報は、この意見募集以外の目的で利用したり、
第三者に提供したりすることはありません。

令和 7 年 10 月 編集・発行

鶴見区役所 福祉保健課事業企画担当

〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央 3-20-1

TEL:045(510)1826 FAX:045(510)1792

社会福祉法人 横浜市鶴見区社会福祉協議会

〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央 4-37-37

リオベルデ鶴声 2階

TEL:045(504)5619 FAX:045(504)5616